YASKAWA
安川情報システム株式会社

福岡県北九州市八幡西区東王子町5番15号 〒806-0037
TEL.093-622-6111（代） FAX.093-622-6121

YASKAWA INFORMATION SYSTEMS Corporation
5-15, Higashioji, Yahatanishi-ku, Kitakyushu, Fukuoka 806-0037, JAPAN
PHONE. +81-93-622-6111 FAX. +81-93-622-6121

18J.7.9XP.YOB

株主のみなさまへ

2019年2月期 vol.31

2018年8月 第2四半期
2018年3月1日～2018年8月31日

YASKAWA
安川情報システム株式会社

証券コード：2354

連結業績ハイライト

- 当第２四半期連結累計期間における情報サービス業界では、企業収益の回復を背景にクラウドやビッグデータ、IoT、AI等の技術を活用した設備投資やIT投資は堅調に推移しております。
- 当社グループでは、中期経営計画「Challenge for Excellence」の最終年度として、IoTソリューションとビジネスソリューションを両輪として受注拡大を図るとともに、付加価値の向上とコスト構造改革の継続により、将来への成長基盤固めに努めております。
- 当第２四半期連結累計期間の業績は前年同期に比べ売上は減収となりましたが、内製化の促進等による利益率の改善により、利益は前年同期を上回ることができました。
- 中間配当金につきましては、１株当たり３円とさせていただきました。

（単位：百万円）

科　　目	2018年第２四半期	2017年第２四半期	2018年２月期
受注高	7,218	8,047	12,540
売上高	6,222	6,568	12,484
営業利益	251	187	443
経常利益	255	189	445
親会社株主に帰属する四半期・当期純利益	153	94	972
１株当たり四半期・当期純利益：円	8.51	5.25	54.03
純資産額	2,900	1,467	2,666
総資産額	8,728	7,933	8,467
１株当たり純資産額：円	153.15	77.10	143.71
自己資本比率：%	31.6	17.5	30.6
自己資本四半期・当期純利益率(ROE)：%	5.7	6.9	49.5

目次

ごあいさつ ····· 1
過去５カ年の業績推移 ····· 2
事業別の概況 ····· 4
事業のご紹介 ····· 5
トピックス ····· 6
四半期連結決算報告 ····· 9
会社プロフィール ····· 12
株主情報 ····· 13

ごあいさつ

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

この度の豪雨・台風、地震で被災された方々に謹んでお見舞い申し上げるとともに、被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

さて、世界経済に目をやると、中国の景気失速感や米中貿易摩擦懸念など先行きの不透明な材料も多く存在するものの、2018年度上期の米国の減税施策の効果やユーロ圏の内需拡大を中心とした底堅い経済推移により、今後は緩やかに回復していくことが見込まれています。一方、国内では企業の人手不足感が強まっており、労働力不足が経済成長の重石になるとの見方が更に強まっています。外国人労働者の活用やICT化など、政府の後押しもあって働き方改革が進んでいくことが予測されます。当社においても、女性活躍推進を始めとしたダイバーシティの促進、業務のICTシステムの最新化など働き方改革を進めています。

そのような中、2018年度第２四半期の当社業績につきましては、前年同期比で売上高が94.7%で減収となりましたが、経常利益は134.9%で営業力の強化と働き方改革の推進により増益となりました。

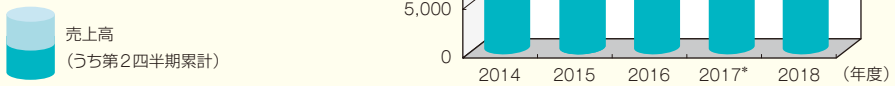
今年6月に、当社は米国に子会社(YE DIGITAL, Inc.)を設立いたしました。シリコンバレーを拠点に最新技術の開拓などを進めて参ります。このような更なる成長へ向けた挑戦とこれまでのコスト構造改革の継続により、当社は成長基盤固めを図って参ります。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともなお一層のご指導、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

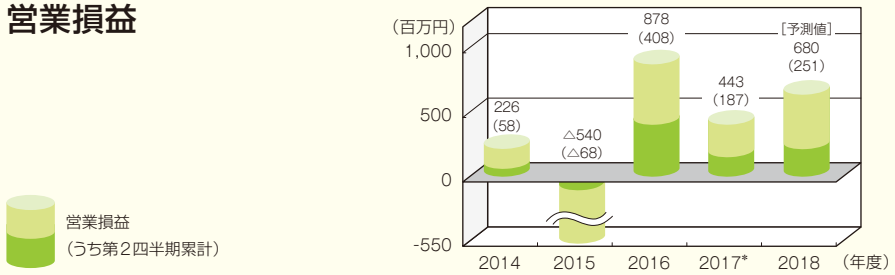
代表取締役社長
遠藤直人

過去５カ年の業績推移

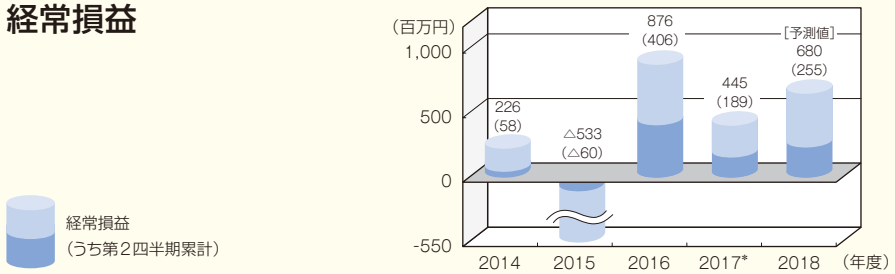
売上高



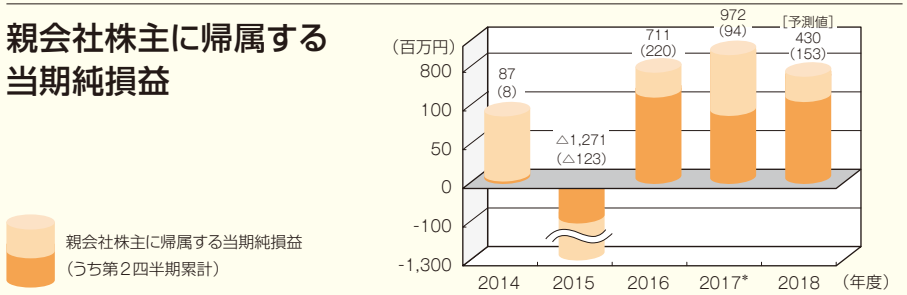
営業損益



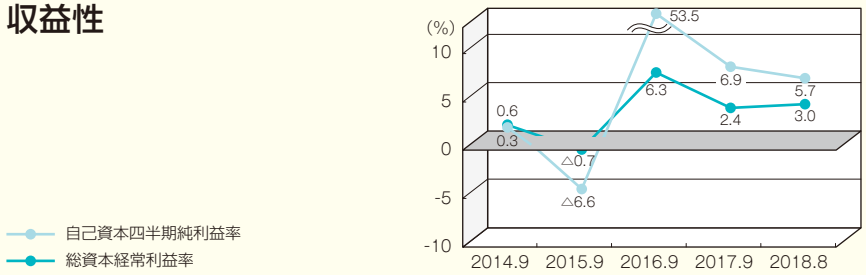
経常損益



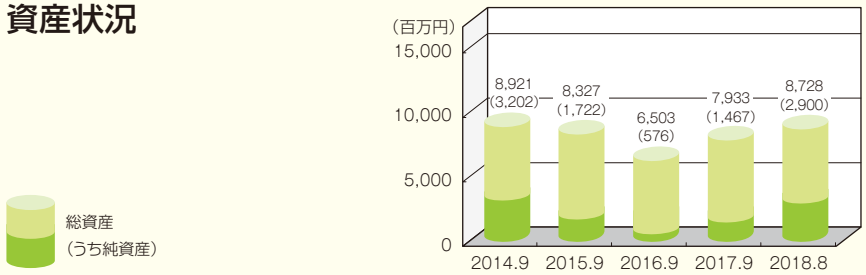
親会社株主に帰属する当期純損益



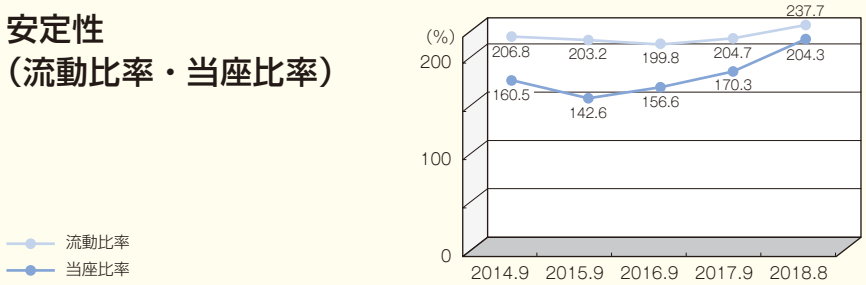
収益性



資産状況

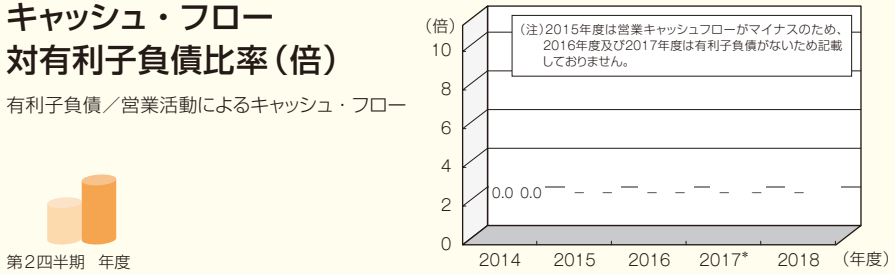


安定性（流動比率・当座比率）



キャッシュ・フロー対有利子負債比率（倍）

有利子負債／営業活動によるキャッシュ・フロー



＊：2017 年度は、11 か月 8 日間（2017 年 3 月 21 日～2018 年 2 月 28 日）の決算期間となっております。

事業別の概況

（単位：百万円）

事　　業	2018年8月第2四半期	2017年9月第2四半期	2018年2月期
IoTソリューション事業	2,037	2,359	4,586
ビジネスソリューション事業	4,185	4,208	7,897
連結売上高合計	6,222	6,568	12,484

IoTソリューション事業

当事業では、倉庫物流や生産ライン管理等のFAシステム構築、IoT/M2Mアプリケーションサービス、製品組込ソフト開発は前年同期に比べ増加しましたが、情報機器販売、医療機器向けソフト開発、インターネット・セキュリティ関連製品については減少しました。

その結果、売上高は20億37百万円（対前年同四半期比13.7%減）となりました。

ビジネスソリューション事業

当事業では、健康保険者向けシステム構築、ERPソリューション、安川電機グループのIT投資は前年同期に比べ増加しましたが、移動体通信事業者向け開発、企業向け基幹システム開発は減少しました。

その結果、売上高は41億85百万円（対前年同四半期比0.5%減）となりました。

事業のご紹介

IoTソリューション事業

クラウドサービスから通信機器まで、IoTでお客様の業務効率化を支援。AIを活用したデータ分析技術でお客様に新たな価値を創造します。

注力分野

スマートファクトリー

- 工場設備のIoT化、AI分析、次世代MESを中心とした製品群でIndustrie 4.0（スマートファクトリー）の実現を支援。

IoT/M2Mソリューション

- IoTの実現に必要となる、通信機器・回線・データ蓄積・分析などの全ての要素をワンストップで提供。
- お客様のビジネス変革をトータルにサポート。

AI・ビッグデータ分析

- データサイエンティストが独自のAI技術を駆使し、お客様の製品・製造に対して最適化・効率化を強力に支援。

医療機器メーカ向けシステム開発

倉庫物流システム

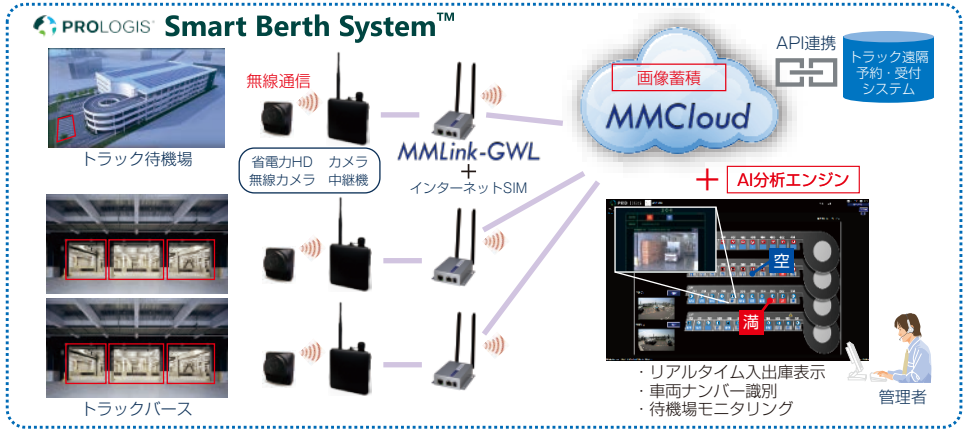
製品組込開発

学校ICTソリューション

製品紹介

物流施設バース監視システム

- 国内外で多数の物流倉庫を所有するグローバル企業向け。
- LOCIXカメラ+クラウド+AI分析を組み合わせた物流施設バース監視システムを低価格で実現。



事業のご紹介／トピックス

ビジネスソリューション事業

ERP を中心とした業務システム構築、運用、保守の豊富な実績を活かし、ICT による新たな価値創造でお客様の経営強化を支援します。

注力分野

ERP（SAPほか）／グローバル展開支援

- 豊富な実績で培われた技術・知見・ノウハウを活用し、お客様に最適なシステム導入・移行を短期間で実現。

顧客業務システム

健康保険システムの構築

システムコンサルティング

運用支援・保守

- 認定コンサルタントによる、プロフェッショナル・サポートをご提供。
- サポート分析から業務効率向上提案の提供。
- 多言語対応でグローバル展開を支援。

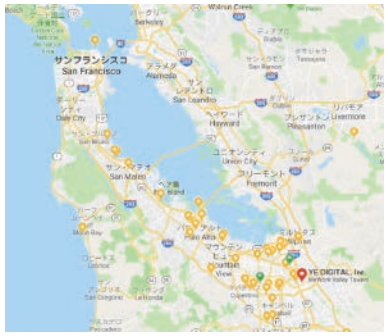
米国に子会社を設立

2018 年 6 月 1 日、米国カリフォルニア州に子会社 YE DIGITAL, Inc. を設立いたしました。海外拠点設立の目的は、IoT 事業を中心とした事業拡大方針の中で今後のグローバル化を視野に入れ、先端技術を持った米国シリコンバレーの企業との協業、M&A などを通し、その技術と当社製品とのプロダクトミックスによるソリューションを日本及びアジア市場へ展開していくことです。

昨年から業務提携しているLOCIX社のカメラ製品、位置測位技術については、日本国内において多くの企業から期待が寄せられており、事例として物流倉庫向けのシステムに採用・展開が進んでいます。また、昨年からシリコンバレーへ駐在員を派遣しており、今回の拠点設立によりLOCIX社とのビジネスを加速し、パートナー企業の開拓を更に進めていきます。

子会社の概要

商　　号：YE DIGITAL, Inc.
所 在 地：75 E Santa Clara Street, San Jose, CA 95113
代 表 者：竹原　正治（当社　執行役員）
事業内容：先端技術や新製品・サービス等の調査・マーケティング



トピックス

スマートバス停の試験運用を開始

Nishitetsu Group × YASKAWA 安川情報システム株式会社

当社は 2018 年 1 月から、福岡県を中心にバス事業を展開する西鉄グループの 3 社（西日本鉄道株式会社、西鉄バス北九州株式会社、西鉄エム・テック株式会社）とお客様の利便性向上と働き方改革に向け、スマートバス停の試験運用を北九州市内で開始しました。

スマートバス停とは、電子ペーパー*などにリアルタイムで情報を提供できるバス停のことです。「時刻表の文字が小さく見づらい」、「お知らせしたい情報をお客様に即座にお伝えできない」という課題を当社の IoT 技術を用いて解決しています。

乗車当日の時刻表と現時刻の時間帯を拡大して表示することで見やすさを向上しています。また、運行状況や緊急時のお知らせなどの一斉配信、多言語への対応［英語、中国語（簡体字）、韓国語］など、国内外のお客様にいち早く情報をお伝えすることも可能です。これらの機能により、これまで長時間かけて行っていたバス停への時刻表やお知らせ文などの掲示や管理作業が不要となるため、働き方改善への効果も期待されます。

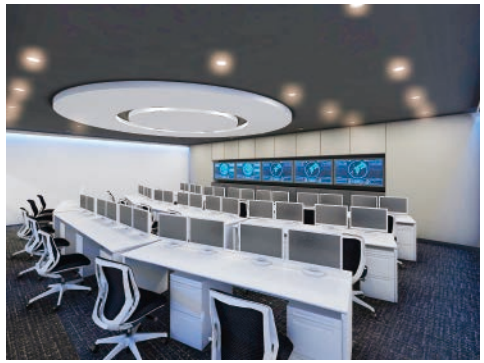
2018 年 7 月 3 日からは試験運用を拡大し、北九州市内で最も利用者数が多い小倉地区の「砂津」バス停を始め、北九州市内 5 つのバス停に市街地型のスマートバス停を設置しています。それらのスマートバス停には、時刻・バス接近案内サービスや動画表示機能が追加されており、約 8 か月間にわたり視認性の確認、改善点の抽出、新機能の技術的検証を行う予定です。

西鉄グループと当社はお客様の利便性向上及び従業員の業務軽減のため、スマートバス停の本格運用に向けて今後も取り組んで参ります。

＊：紙と同じような視認性や薄さを備え、表示内容を書き換えられるディスプレイのこと

トピックス

ITカスタマサービスセンター「Smart Service AQUA」の開設



Smart Service AQUA

当社はIoTやAIなどを活用したソリューションの提供により、お客様のデジタル・トランスフォーメーションを支援しています。2016年4月に本社内に「グローバルサービスセンター」を立ち上げ、お客様のシステム運用を支援するサービス事業を強化・拡大して参りました。

更に、2018年10月1日に従来の「グローバルサービスセンター」の約6倍となるITカスタマサービスセンター「Smart Service AQUA」（福岡県北九州市小倉北区）を開設しました。新しい施設ではその広さを活用し、お客様ごとに専用のサポートエリアを設けるなどプレミアムなサービス提供が可能となるほか、サービス内容ごとにエリアを分け、相応のセキュリティ対策を講じます。それにより、サポート業務をより安心してお任せいただける環境を整備します。

「Smart Service AQUA」が提供するサービス

● ユーザ定着化支援サービス

アセスメント　マテリアル制作　トレーニング

導入検討時に現状把握・評価を行うことで最適なシステムの選定、活用方法を検討するアセスメント、社内への定着に向けたマニュアル等の整備、導入教育など、システム導入時の「できたらいいのに」という業務を代行します。

● カスタマサポートサービス

導入支援　ヘルプデスク　監視・運用

大型導入時のキッティングといった導入支援や、運用時のヘルプデスク、運用監視など、システムの導入・活用支援を提供。監視運用サービスでは、活用状況を分析し、導入効果を発揮するための活用方法のアドバイス等も行います。

● SAPプロフェッショナルサービス

SAPコンサルによるシステム支援

SAPコンサルタントが、お客様の基幹業務システムの支援を行います。直接コンサルタントが対応することで問題解決までにかかる時間を短縮するとともに、コンサルタントが導入効果を発揮するための活用方法をアドバイスいたします。

四半期連結決算報告

（四半期連結貸借対照表）

■ 四半期連結貸借対照表（2018年8月31日現在）

（単位：百万円）

資産の部	金　額
流動資産	6,267
現金及び預金	2,402
受取手形及び売掛金	2,818
電子記録債権	165
商品及び製品	16
仕掛品	446
原材料及び貯蔵品	14
その他	402
貸倒引当金	△0
固定資産	2,461
有形固定資産	778
無形固定資産	498
繰延税金資産	892
投資その他の資産	292
資産合計	8,728

（単位：百万円）

負債の部	金　額
流動負債	2,636
支払手形及び買掛金	1,143
未払費用	1,060
未払法人税等	135
役員賞与引当金	7
その他	289
固定負債	3,191
退職給付に係る負債	2,900
その他	290
負債合計	5,828
純資産の部	**金　額**
株主資本	3,365
資本金	673
資本剰余金	327
利益剰余金	2,364
自己株式	△0
その他の包括利益累計額	△603
その他有価証券評価差額金	9
退職給付に係る調整累計額	△613
新株予約権	128
非支配株主持分	11
純資産合計	2,900
負債純資産合計	8,728

四半期連結決算報告

（四半期連結損益計算書・四半期連結キャッシュ・フロー計算書）

■ 四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間（自 2018年3月1日　至 2018年8月31日）

（単位：百万円）

	金　額
売上高	6,222
売上原価	4,521
売上総利益	1,701
販売費及び一般管理費	1,450
営業利益	251
営業外収益	
受取利息	0
受取配当金	0
仕入割引	0
保険解約返戻金	4
その他	0
営業外収益合計	6
営業外費用	
支払利息	0
売上債権売却損	0
為替差損	0
保険解約損	1
その他	0
営業外費用合計	2

（単位：百万円）

	金　額
経常利益	255
特別損失	
固定資産除却損	0
特別損失合計	0
税金等調整前四半期純利益	254
法人税、住民税及び事業税	109
法人税等調整額	△9
法人税等合計	99
四半期純利益	155
非支配株主に帰属する四半期純利益	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	153

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書（自 2018年3月1日　至 2018年8月31日）

（単位：百万円）

	金　額
営業活動によるキャッシュ･フロー	
税金等調整前四半期純利益	254
減価償却費	101
株式報酬費用	75
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△0
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	0
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	106
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△13
受取利息及び受取配当金	△0
支払利息	0
固定資産除却損	0
売上債権の増減額（△は増加）	138
たな卸資産の増減額（△は増加）	△171
仕入債務の増減額（△は減少）	264
未払費用の増減額（△は減少）	△159
その他	△53
小計	542
利息及び配当金の受取額	0
利息の支払額	△0
法人税等の支払額	△113
営業活動によるキャッシュ･フロー	429

（単位：百万円）

	金　額
投資活動によるキャッシュ･フロー	
有形固定資産の取得による支出	△19
無形固定資産の取得による支出	△63
投資有価証券の取得による支出	△56
その他	27
投資活動によるキャッシュ･フロー	△111
財務活動によるキャッシュ･フロー	
株式の発行による収入	0
配当金の支払額	△53
非支配株主への配当金の支払額	△1
財務活動によるキャッシュ･フロー	△55
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	262
現金及び現金同等物の期首残高	2,139
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,402

会社プロフィール

会社概要（2018年8月31日現在）

商号　：安川情報システム株式会社
本社所在地：福岡県北九州市八幡西区
東王子町5番15号 〒806-0037
設立年月日：1978年2月1日
資本金　：673百万円
従業員数　：500名
主な事業　：IoTソリューション事業
ビジネスソリューション事業
連結子会社：株式会社 安川情報九州

役員（2018年8月31日現在）

代表取締役社長	遠藤直人
取締役 常務執行役員	久野弘道
社外取締役	野口雄志
社外取締役	下池正一郎
社外取締役	三浦正道
監査役（常勤）	城戸重信
社外監査役	平山雅之
社外監査役	大串秀文
常務執行役員	石田聡子
常務執行役員	玉井裕治
執行役員	大久保誠二
執行役員	竹原正治
執行役員	宮河秀和
執行役員	田原圭一郎
執行役員	城山忠毅

当社のホームページ

当社のIRページ

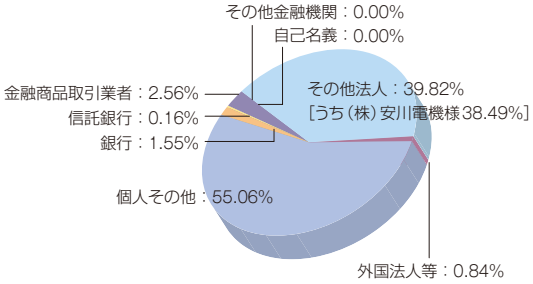
http://www.ysknet.co.jp

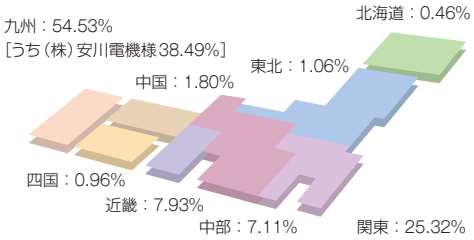
株主情報

株式の状況（2018年8月31日現在）

株式の総数：64,000,000株
発行済株式の総数：18,030,400株
株主数：7,501名

株式数の分布状況（2018年8月31日現在）





外国：0.83%

株主メモ

事業年度	3月1日～翌年2月末日
期末配当金受領株主確定日	2月末日
中間配当金受領株主確定日	8月31日
定時株主総会	毎年5月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 0120-232-711（通話料無料） 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.ysknet.co.jp （ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。）

（注）当社グループは決算期を3月1日から2月末日までに変更いたしました。なお、決算期変更の経過期間となる第41期（2017年度）は、2017年3月21日から2018年2月28日までとなります。

＜お知らせ＞

1．株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2．特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。
なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3．未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。